

専門教育科目

講義科目

基本/OCR

SC

授業科目名	金融商品とリスク	科目コード	配当年次	単位
担当教員	齋藤 聡	EK05	3・4	2

科目の概要

老後に2,000万円の貯蓄が必要といわれる。老後は楽しみながら生きていきたい。そのためには貯蓄が必要で、その運用方法を理解しなければならない。金融商品の特性を理解し、計画的に貯蓄する手法やリスクとリターンとの関係を理解しながら合理的な金融商品の選択をする方法を学ぶ。本科目の目的は、難しい数式を使うことなく、金融商品のリスクを分かりやすく解説し、投資家自身の力で、金融商品のリスクを見抜く能力を身に付けることにある。
社会人として必要な金融知識を体系的に学ぶことを目標とする。

科目の到達目標

- ①証券会社や銀行で販売されている金融商品の仕組みを知って、そのリスクとリターンを判定でき、勧誘された金融商品のリスクを見分けることができる。
- ②リスクなくリターンが大きい金融商品が存在しないことを理解し、うまい話や甘い勧誘にだまされない能力を身に付けて、金融商品のリスクを解説することができる。

テキスト

『はじめての人にもわかる 金融商品の解剖図鑑』吉澤 大,かんき出版,2018年
『2020年度版 金融商品ガイドブック』ファイナンシャル・プランニング技能士センター(編著),
一般社団法人金融財政事情研究会

テキストの読み方

- ①第一章「投資信託を解剖する」:金融機関に運用手数料を払い投資信託を購入し、資産運用する手法を学ぶ。運用を専門家に託すものでは、どのような中身で運用をしているのかを学ぶ。第二章「個別投資を解剖する」:自分自身が意思決定し運用する手法を学ぶ。第三章「ローンを解剖する」:ローンの種類とその活用方法を学ぶ。第四章「保険を解剖する」:生命保険、損害保険、共済の違いを学びながら保険の仕組みを理解する。第五章「税制を解剖する」:金融商品の税制を学ぶ。
- ②副読本を常時使いながら、金融商品の具体的な商品内容を同時に学ぶ。年金資金の運用方法や自分が将来もらえることになる年金の仕組みを理解する。うまい話には必ずリスクが隠れていることを覚えておく。そして、社会人に必要な金融教育と投資と運用の必要性を学習する。

単位修得の方法

- ①レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。
または、
- ②スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、レポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。